

せいせき朝顔市 販売に 700 株並ぶ

掲載日：令和 7 年 7 月 24 日（木）

ふるさと多摩夏まつり実行委員会は 7 月上旬の 2 日間、京王線聖蹟桜ヶ丘駅周辺で第 43 回ふるさと多摩夏まつりを開いた。会場内で「2025 せいせき朝顔市」を開き、多摩市園芸部 6 人が丹精込めて栽培した約 700 株の朝顔を販売した。

前日に品評会を開き、東京都南多摩農業改良普及センターの小林和郎所長、J A 東京みなみ多摩支店の鈴木功一支店長ら審査委員 4 人が審査をした。今年は萩原重治さん（68）が多摩市長賞を受賞した。

同園芸部の萩原弘部長は「ここ数年、梅雨入り頃からの高温で栽培が難しくなっている。朝顔市は例年多くの来場者で賑わい励みになっている。今後も品質の高い朝顔を栽培し、喜んでもらえる販売を長く続けていきたい。」と話した。



朝顔を販売する生産者（東京都多摩市で）